

報告

YIC30周年記念品 マルチクロスデザイン決定!

YIC30周年記念品マルチクロスのデザインは、3つのデザインの中で、最も人気のあったBのデザインに決定しました!! たくさんの応募、温かいメッセージをありがとうございました♡ Bに投票していただいた人の中から、抽選で5人にマルチクロスを3枚ずつプレゼントします。

投票結果

A		42票
B		78票
C		24票
総投票数		144票



デザイン決定

マルチクロス
プレゼント抽選会

9月2日(水曜日)
午後3時からYIC事務所前
で実施します。

抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。

報告

OSAKA IN THE WORLD マダガスカル編の中止について

OSAKA IN THE WORLD 実行委員会は、今年度のマダガスカル編の開催を中止することを決定し、来年度に延期をして進めていくことになりました。



案内

YICのFacebookに「いいね!」してね!

YICのFacebookでは、事業の様子、ボランティアの募集、多文化紹介など、やさしい日本語や多言語でYICからのお知らせや情報を随時更新しています。最新情報をYICのFacebookで是非見てください♡ YIC FacebookはQRコードをスマートフォンなどで読み取るか、インターネットで『YAO International Center Facebook』を検索してください。



注意

新型コロナウイルス感染が拡大傾向にあります。日本語交流やSALAに参加されているボランティア、学習者で、感染者が増加している地域に行かれる人は、くれぐれもご注意ください。不安な人はご相談ください。

30周年を迎えるYICを、少しでもみなさんに身近に感じていただけたらと、今回は設立当初より現在まで、YICの役員として務めてこられた田中副理事長にインタビューしました。



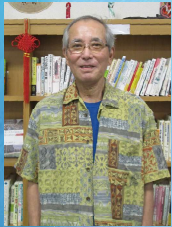
1988年、訪問団で訪れたアメリカで。往年の俳優のような田中副理事長。

みんなに親しまれるようなところになってほしい

公益財団法人 八尾市国際交流センター 副理事長・八尾市日本中国友好協会会長・田中順治

インタビューの日は、初夏に似合う柄の入ったシャツを着て事務所に現れた田中副理事長。普段なかなか会う機会がありませんが、理事会でのスーツの着こなしとは、また一味違った雰囲気。手には、かつて中国の各都市を表敬訪問した際や、八尾市の姉妹都市であるアメリカ合衆国ベルビュー市出身の高校生をホストファミリーとして受け入れた時などの、心温まる交流の様子の写真アルバムが。メモや資料などを添えて、丁寧に整理された数々の写真を見ていると、八尾市の国際交流の芽が育ちだした頃にタイムスリップしたような気分を味わえました。

当時、八尾市役所の職員として都市間交流の職務に尽力していた田中副理事長は、「秘書課長をしていなかったら、こまめで国際交流に関わってこなかったら…」と振り返る。八尾市日本中国友好協会の発展に長く携わり、いまや会長職。「ずっと離れられずにいる」(笑) そうだが、それがYICとの縁にもなり、設立当初から評議員を経て丸30年間関わってきた。副理事長によると、昭和46年に日本と中華人民共和国の国交が回復してから、国や地域において国際化が叫ばれるようになり、今や多くの都道府県、市町村が中国各都市と友好関係にある。そんな中、八尾市も上海市嘉定区(現在嘉定区)の方々から熱烈歓迎を受け交流が始まり、さらにバブル最盛期の当時の市長や商工会議所、経済界の方々を中心に大きな協力をいただき、YIC設立へとつながったとのこと。「八尾市のように、国際交流センターを市が独自でもっているところは多くはない」と力強く言う。また、「みなさんの力添えによって、現在は住民との関わりの深い活動を多くしており非常に満足している。」と、国際交流の大先輩からなんとも嬉しいお言葉がベ(*´▽`*)。



YIC事務所にて

現在、空いている時間には漢字の難読クイズをよくしているとのこと。長年中国との関わりをもってこられた副理事長が、今も中国で発祥した文字で余暇を楽しまれていることは、不思議な縁がまだまだ続いているようですね(笑)。「このYICがみんなに親しまれるようなところになってほしい」と願う田中副理事長の言葉を胸に、これからの時代もYICが必要とされるよう、スタッフ一同もっと精進してまいります!

その他

「やさしい日本語」を考えてみよう! Vol.4

新型コロナウイルス感染症に関するニュースでは、今まであまり聞いたことがないカタカナ語(外来語)が出てきました。(オーバーシュート、クラスター、ロックダウン...)。その他のニュースを含めて、日本語には、たくさんカタカナ語があふれています。(ライフライン、キャンセル、ルール、サービス、ヘルシー、ウォーキング、リスク...)

そこで、今回はカタカナ語を「やさしい日本語」にすることについて考えてみましょう!



コロナのニュース
でよく聞く

クイズ① オーバーシュート

クイズ② 旅行をキャンセルします。

クイズ③ ヘルシーな食べ物

募集

ボランティア募集!

興味のある人は
まずお電話ください!

通訳・翻訳
YIC 事業への参画
世界各国、各地の文化紹介



ホストファミリー
外国にルーツを持つ子ども支援
(SALA)
日本語交流

★ **書名** ブエノス・ディアス、ニッポン ～外国人が生きる「もう一つの日本」～

★ **著者** ななころびやおき（山口 元一） ★ **出版社** ラティーナ ★ **発行** 2005年

★ **内容** 日本にいる外国人のすべての人にストーリーがあり、日本に住んでいる理由がある。日本でたくましく生きる在在外国人の生への情熱。ユーモアに彩られた一人一人の「物語」が生き生きと感じられる一冊。



★ **書名** 日本の異国 - 在日外国人の知られざる日常 -

★ **著者** 室橋 裕和 ★ **出版社** 晶文社 ★ **発行** 2019年

★ **内容** 八王子・千葉県成田市にあるタイ寺院、ミャンマーの難民たちがつくった新宿区高田馬場の「リトル・ヤンゴン」、多国籍化が進む新大久保。その他にも日本国内でグローバル化が進んでいる町を、著者が自ら歩き、そこに住む外国人のリアルな声を取材している。「多文化共生」とは、「共に生きる」とは何なのかを改めて考えさせられる興味深い一冊。



Treasure Yic 84th



YICメンバーを数珠つなぎ形式でインタビュー。
前回の 西田 和子 さんからのご紹介です！

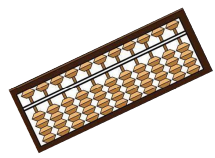
西田 和子さん・柏原市在住
YICメンバー歴 約1年4カ月

一昨年、八尾市の小学校教師を退職し、今は非常勤講師として働くかたわら、以前は持てなかった自由な時間に日本語交流ボランティアとして活動されている西田さん。教員生活40数年、当時から八尾には様々な国籍の人が定住していたこともあり、新任当初から外国人児童との関わりを持ってこられました。特に、日本語指導担当として働いていた13年間は、外国にルーツをもつ子どもたちと深く向き合っていました。その頃は、日本語が全く話せない子どもに日本語を教える指導方法はまだ確立されておらず、試行錯誤しながら、それぞれの子どもの合わせた教材を両手に抱えて、毎日八尾市内の複数の小中学校を駆け巡った日々だったそう。「教育現場では日本に暮らす外国の人の苦悩や悲しみは、子どもを通すとより切実に感じた。彼らの役に立ちたい、日本で少しでも楽しく生きてほしい。」という西田さん。YICにとって心強いボランティアの一人であることは間違いありません。

YICの日本語交流ボランティアでは、自身の経験を活かし、外国の人にとって“聞いたことのあるけれど正確な意味はわからない言葉”を丁寧に教えて学習者に喜ばれている。「教師時代は自身の健康を顧みる時間もなかったが、これからは家族の為にも健康にもっと気をつけたい。」と話す西田さんのカラッと笑った笑顔は、夏の季節にぴったりでした。

他団体 外国人のためのそろばん講座

「外国人のためのそろばん講座」は、1986年から開講し、今まで97カ国1210名が受講しています。日本の伝統計算文化である“そろばん”を通して、思考力、五感を使って行う計算の技術を学び、アナログの大切さを再認識できます。大阪珠算協会会員指導者のボランティアが、個別で指導します。



開催場所：大阪市中央区本町橋2-8 大阪商工会議所5階
大阪珠算協会事務局

日時：毎週土曜日 午前10時から12時まで（2時間授業）

内容：日本の伝統文化「そろばん」の体験、習得

対象：外国人（原則授業は英語）

費用：無料（標準型そろばん進呈／教材無償提供）

主催：（一社）大阪珠算協会・大阪商工会議所

問い合わせ：森友 建（講座運営責任者 同協会特別顧問）

E-mail: ken_moritomo@nifty.com TEL:090-1960-1682

- ★と き：12月6日(日曜日)
- ★受験料：5,500円
- ★受付期間：8月24日(月曜日)から9月17日(木曜日)まで
- ★申込方法：インターネット (<http://info.jees-jlpt.jp/>)
- ★主催：公益財団法人 日本国際教育支援協会
- ★問合せ：日本語能力試験受付センター TEL:03-6686-2974

- ★対象：日本語を母語としない人
- ★実施レベル：N1、N2、N3、N4、N5

の5レベル



八尾市外国人相談窓口 (YIC内)

特別定額給付金の受け付けは8月31日(月曜日)までです。申請期限を過ぎると、受け付けてもらえません。申請書の書き方がわからない人や、自分の国の言葉で質問したい人は、電話またはメールで連絡してください。

TEL:072-924-3337 E-mail: hellosoudan.ycs@wind.ocn.ne.jp



午前9時から
午後5時まで
※は午後1時から午後5時まで
電話番号
072-924-3337

対応言語	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
英語	○	休み		○	○		休み
中国語	○※			○	○		
ベトナム語	○ 第1 第3		○※		○※	○	
タイ語	○						

他の言語は翻訳機を使って対応します。

休みのお知らせ

	8月30日(第5日曜日午前)の日本語交流
YIC	8月11日(火曜日)※8月10日(祝日)の振替のため
日本語交流	8月11日(火曜日)※8月10日(祝日)の振替のため 8月13日(木曜日)、14日(金曜日)※お盆のため
SALA	コロナウイルス感染拡大防止のため、8月はお休みします。
	現在、第2・4週目に活動しているペアの活動日になります。 *グループクラスは、入門クラス(午前9時30分から午前10時30分まで)を開催します。

「やさしい日本語」を考えてみよう! クイズ 解答例



- ① ウイルスにうつった人が、急にとても増えること。
- ② 旅行をやめます。
- ③ 体に良い食べ物



やさしい日本語には、「カタカナ語(外来語)は、なるべく使わない。」というポイントがあります。カタカナ語(外来語)は、もともとの言葉の意味や発音と異なる場合があるため、伝わりにくい言葉となります。「もともとは英語だったから伝わるだろう」と思ったら、あれ、伝わらない...ということになります。日常生活でよく使い、言いかえる必要のないもの(例: テレビ、ラジオ、ガス、インターネット)はそのまま使いますが、カタカナ語も、なるべくやさしい日本語で使いましょう♡



公益財団法人 八尾市国際交流センター

〒581-0833 八尾市旭ヶ丘5-85-16 八尾市生涯学習センター内

TEL:072-924-3331 FAX:072-924-3332
 開所時間 午前8時45分から午後5時15分まで
 休所日 月曜日・土曜日・祝日・年末年始
 <E-mail> helloyic@helen.ocn.ne.jp
 <ホームページ> <http://www.helloyic.or.jp>
 <Facebook> YAO International Center

